

高知市水道局の災害対策

水道局では、今後30年以内に60%の確率で発生するといわれている南海地震などの災害に対応するため、施設や管路の耐震化を図る一方、応急給水をおこなうための施設の建設を積極的に進めています。



施設や管路の耐震化

旭浄水場を更新工事により最新の耐震基準を満たす施設にするなど、水道施設の耐震化を進めています。

管路については、口径150mm以上の基幹管路の耐震化を優先的に進めており、平成24年度末現在、基幹管路の21.7%が耐震化されています。また、針木浄水場から九反田配水所までの送水幹線の二重化についても取り組んでいます。

応急給水施設の拡充

● **応急給水栓**は、消火栓等に給水栓を仮設し、地震等災害時に臨時に給水をする施設で、市内60か所への整備を完了しています。

● **耐震性非常用貯水槽**は、管路の破損等により応急給水栓が使用不能となった場合に備え、1基で約6千人分の飲料水(1人1日3リットルとして3日間分)を確保するもので、現在19基の設置が完了

しており、平成31年度までに残る6基の設置をおこなう予定です(うち、3基は設置地区未定)。

★ **緊急遮断弁**は、大きな地震や管路異常の際に自動的に弁を閉め、配水池の水の流出を防ぐ施設です。

■ **応急給水拠点**は、配水池に確保した水を、タンク車などで避難所等に給水する際の拠点となる施設です。

▲ **応急対策用保管施設**は、迅速な応急復旧・応急給水活動をおこなうための資機材を備蓄した倉庫で、応急給水拠点に併設しています。

対策基本計画の策定

今年度には「高知市水道局南海地震対策基本方針」を策定。さらにこの3月には、その基本方針に沿って「南海地震対策基本計画」を策定し、向こう5年間のハード対策・ソフト対策について事業計画を定めます。